

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築省エネルギー 2016 (使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v1.0))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)緑区森の里計画Ⅱ工区 新築工事	階数	地上10F
建設地	愛知県名古屋市緑区森の里一丁目96番1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	759 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年5月30日
敷地面積	7,136 m ²	作成者	
建築面積	2,064 m ²	確認日	2023年5月30日
延床面積	14,765 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 138 (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 69%

③上記+②以外のオンサイト手法: 69%

④上記+オフサイト手法: 69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
周辺への圧迫感を軽減させるため、マリオンと出部屋形態を活かし、垂直性を強調し単調な外観とならないように計画した。		
また、温かみのあるイメージとするため、ブラウンと白の外壁色とし、緑地計画にも力を入れてデザインした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
日本住宅性能評価表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を満たす予定。 全般的にF☆☆☆☆を採用している。	更新性に配慮し、長期的な利用が可能な建物を目指した。	出来る限り緑地帯を設け、準工業地域に建つ住宅環境に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
日本住宅性能評価表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を満たす予定。	有害物質を含まない資材を使用することにより、安全な住環境の実現に努めている。	ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物(参照値)と同等。 適切な量の駐車スペース、自転車置場を確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)緑区森の里計画Ⅱ工区 新築工事

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				4.0
LR1	エネルギー	4.2	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.2	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				2.6
LR2.1	水資源保護	2.2	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 4.0
	
2. 自然共生	評価点 = 2.3
	
3. 循環型社会	評価点 = 2.6
	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。